所　信　表　明

令和６年３月４日

所信表明の前に、本年元日に発生した能登半島地震により被災された皆さま及び関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

１．はじめに

令和６年第１回定例会の開会を迎え、町長として私の町政運営に関する所信の一端を申し上げ、議員各位のご理解を賜りますとともに、今後の町政運営に対して、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

元日に発生した能登半島地震では、避難及び救助活動の難しさだけでなく、避難所での生活環境対策や避難後の生活の再建、道路・上下水道・電力・通信の復旧につき考えさせられております。被災地の復旧の一助になればと、本町でも徳島県と連携して職員の派遣を行ってまいりました。近い将来に発生が予測されている南海トラフ地震に備え避難所の機能の充実化や防災意識の啓発による安心安全なまちづくりが求められております。

また、３年間におよんだコロナ禍は、昨年５月に感染症法上の取り扱いが５類に移行し社会活動が活発になることにより、消費拡大による経済活動の回復と成長の兆しに期待をしておりますが、一昨年から続くロシアによるウクライナ侵攻や円安による物価高騰は、行財政を圧迫しております。

社会経済情勢は急速に変化し行政課題は山積しておりますが、町民の皆さまのご意見に耳を傾けながら、北島町を持続的に発展させるための施策に全力で取り組んでまいります。

２．所　信

次の５つの基本方針にのもと、「活気にあふれ、町民の皆さまが安心して暮らせる住みよいまちづくり」を進めてまいります。

１）子育て支援

こどもたちが健やかに学べる環境整備や子育てにかかる負担軽減等の施

策を進めてまいります。

２）高齢者・障がい者支援

高齢者・障がい者・介護を要する方や介護を行う方々が住み慣れた町で安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

３）安心・安全なまちづくり

自主防災組織の拡充など、災害に強いまちづくりに向けた対策を行ってまいります。

４）地域の活性化

地域の開発や町内進出企業の誘致、商工会・各種団体との連携により地域の活性化を図ってまいります。

５）社会基盤整備

水道事業・下水道事業を引き続き推進するとともに、関係機関と連携し都市基盤整備を推進してまいります。

３．令和６年度予算編成

令和６年度予算案は、

一般会計　９６億３，０００万円

（対前年比　７億８００万円　７．９％増）

国民健康保険（事業勘定）特別会計　２４億９，３９０万１千円

（対前年比　４億６，５４５万３千円　２２．９％増）

後期高齢者医療特別会計　３億８，２００万６千円

（対前年比　２，６８６万７千円　７．６％増）

介護保険（保険事業勘定）特別会計　１８億９，５３８万６千円

（対前年比　８，８１２万６千円　４．９％増）

介護保険（サービス事業勘定）特別会計　１，２４２万５千円

（対前年比　△２０万円　１．６％減）

公共下水道事業会計　　１０億３，３３５万５千円
（対前年比　　４億２８８万２千円　６３．９％増）

水道事業会計　　１６億１，５０２万９千円
（対前年比　　１億４，０７５万８千円　９．５％増）

となっております。

４．重点施策

所信に基づきまして、令和６年度の重点施策をご説明いたします。

１）子育て支援

子ども・子育て支援法に規定される「子ども・子育て支援事業計画」の現行計画期間が令和６年度までであることから、令和５年度には町内の子育て世代を対象としたニーズ調査を実施しております。令和６年度は現状と課題を分析・検証し、地域における子育て支援等に必要なニーズを反映した第３期計画を策定してまいります。

産後のお母さんの心身の回復や育児不安解消のため、町が委託する医療機関等に宿泊し、休養の機会など心身のケアや育児のサポートが受けられる産後ケア（宿泊型）事業を令和６年４月から開始いたします。心身の不調や育児不安を抱えているお母さんの育児負担を少しでも軽減し、安心して子育てができるように取り組んでまいります。

多子世帯の経済的負担を軽減するため、令和６年４月から第２子の保育料半額助成について、第１子の同時入所要件を撤廃し、対象を拡大いたします。現在は、国の制度に基づいて、保育園等の施設にこどもが２人以上入園している場合にのみ、第２子の保育料を半額としておりましたが、令和６年４月から町独自の施策として、同一世帯に属する１８歳未満のこどもが２人以上いる場合、第２子の保育料を半額といたします。

学校教育の体制整備といたしましては、ＧＩＧＡスクール構想に基づくＩＣＴ教育の更なる充実や、多様性が尊重されるインクルーシブ教育を推進してまいります。

施設整備では、学校講堂の換気設備更新及び空調設備の導入を進めており、２月末には北島中学校講堂の整備が完了いたしました。令和６年度には、北島小学校講堂工事にかかる予算を計上しております。

老朽化している学校給食センターにつきましては、新しい施設の整備に向け準備を進めてまいります。

北島町学校給食センターで提供している給食の給食費につきましては、平成２１年６月から値上げをせず据え置いておりました。しかし、原材料費高騰が続くなか、これ以上維持することが困難な状況となっており、来年度からの給食費を改定することといたしました。今後も、安心・安全でバランスのとれた栄養豊かで魅力的な学校給食を提供するため、引き続き献立内容の質的な向上を図り、地元食材の活用による地産地消の推進と安全な国産食材の確保に努めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

一方で、保護者の急激な負担増とならないよう、国の交付金を活用し、令和６年度４月から１２月分の給食費につきましては、全額徴収しないこととしております。

また、これまでの食育推進事業の成果を研鑽し、学校給食を通して栄養教諭による情報発信や指導の充実を図り、学校・家庭・地域が連携しながら、幅広い知識や望ましい食習慣を身につけ、健全な食生活を営むことができる判断力を培う食育の実践を目指してまいります。

２）高齢者・障がい者支援

本町の障がい福祉施策の指針となる「北島町障がい者計画」「北島町障がい福祉計画」「北島町障がい児福祉計画」は、策定委員会にて必要な事項を検討、協議を重ね完成いたしました。令和６年度からは計画に基づき環境の整備を進めてまいります。

高齢者福祉に関しましては、住み慣れた地域で人との繋がりを持って安心して暮らし続けられるよう地域の民生委員活動等により実情把握に努め、各

種福祉サービスの充実に努めてまいります。

また、地域福祉コーディネーターや関係機関と連携し介護福祉事業に取り組んでまいります。介護サービスや介護予防活動など多世代への普及啓発、認知症などに関する各養成講座の開催などにより、支援体制の充実化に努めるとともに、地域で見守り支え合うことができる体制づくりを図ってまいります。

３）安心・安全なまちづくり

昨年は４年ぶりの町防災訓練を開催することができました。今年も１１月に北小学校をメイン会場として実施を計画しておりますが、中央及び南地域でも同時に避難訓練等を展開することとし、町民の皆さまに広く参加していただくための取り組みを計画してまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響により地域の防災活動が低迷しておりましたが、県防災人材育成センター等の機関や各種団体から講師を迎え、様々な分野から対策を講じるため研修会を開催し、知識習得と防災意識の啓発促進を目指して、町民の皆さまとともに安心安全なまちづくりを進めてまいります。

地域での複雑化・複合化したニーズに対応するため、令和５年度より「重層的支援体制整備事業移行準備事業」に取り組んでいるところであります。「伴走型支援」が可能な地域共生社会の実現のため、庁内連携を図りながら地域住民・企業などと協働で「ひと・まちづくり」を推進してまいります。

空き家対策事業は、危険と判定された物件から優先して所有者と撤去に向けた協議を行うとともに、経年劣化が進んでいる物件にも注意を払い所有者に通知するなど認識を深めていただいております。また県との連携により、空き家情報バンク制度を活用した空き家の再利用のサポートも続けてまいります。

松茂・北島消費生活センターは、町民の皆さまにとって身近で専門的な相談を受けられる機関として、問い合わせ件数も一定の数で推移しております。それとともに町としましても関係機関との連携により、町民の皆さまに寄り添いながら安心して暮らせる施策を進めてまいります。

４）地域の活性化

チューリップフェアは、毎年多くの人に楽しんでいただいております。今回は、ＳＮＳを活用したミニイベントやキッチンカー協会にご協力いただき、土日限定でキッチンカーの出店も企画しております。また、チューリップ公園敷地につきまして１年を通しての利用が可能になりましたので、チューリップ以外の花も楽しんでいただけるよう整備を進めてまいります。

住宅リフォーム補助事業では、施工を町内事業者に限定することにより、町内事業者の育成や地域経済の活性化を図ってまいります。

図書館・創世ホールは、令和６年６月に開館３０周年を迎えます。図書館ではこども対象のお話会や工作教室、大人対象のなつかしのへやや読み聞かせ講習会などを開催し、さらなる読書の推進を図ります。創世ホールでは、恒例のアイルランド音楽演奏会や文化講演会、映画上映会を実施する予定でおります。

５）社会基盤整備

徳島県が主体となって進めております北島排水機場の長寿命化計画ですが、令和６年度より排水設備の整備に着手してまいります。また、令和７年度の浸水想定区域の指定に向けて浸水シミュレーションを行い、内水氾濫対策に努めてまいります。

『北島町中村地区地区計画』につきましては、地区施設道路の工事に着手し、早期完成に向けて取り組んでまいります。

平成２９年より進めておりました一般廃棄物の広域処理に関しまして、関係市町との協議が調わず枠組みが解消となりました。ごみの処理は私たちのくらしに必要不可欠なものであり、現施設の延命を図るには、ごみの減量化が急務となっております。今後のごみの減量化に向け、一般廃棄物処理基本計画を見直し、ごみの有料化を含め本町の清掃事業にとって有効な施策を模索検討してまいります。

上水道事業につきましては、今後予想される大規模災害時においても安定した水道水の供給ができるよう、引き続き指定避難所となっております北島小学校、北島南小学校並びに江尻防災公園（耐震性貯水槽）へ向けた管路の耐震化を進めてまいります。

また、鳴門市・北島町共同浄水場整備事業におきましては、浄水処理棟などの主要な施設の建設を進めるとともに、本町に向けた河川横断送水管の推進工事にも着手をしております。

今後も鳴門市と連携を図りながら、令和８年４月１日の供用開始に向けて着実に事業を進めてまいります。

公共下水道につきましては、令和６年度より第７処理分区グリーンタウンへの幹線管渠の築造に着手し、地域下水道から公共下水道への切り替えに向け、工事を進めてまいります。

また、グリーンタウン内の面整備のための詳細設計を引き続き実施し、令和８年度からの工事着手に向け準備を進めてまいります。

６）その他

町税におきまして、令和５年４月から始まりました地方税統一ＱＲコードにより固定資産税・軽自動車税・町県民税・国民健康保険税につきましては、町内の金融機関窓口だけでなく、全国の金融機関窓口での納税、また、パソコンやスマートフォンを利用したキャッシュレス決済を利用して納税が出来るようになりました。

さらに令和６年度からは、コンビニエンスストアで町税、保険料、上下水道使用料等のお支払いが可能となるよう準備をしております。これにより、仕事終わりや休日の支払いも可能となることからより便利になると考えております。

また、マイナンバーカードを利用して、住民票や所得証明書等の各種証明書をコンビニエンスストア等で取得することができるコンビニ交付サービス事業を令和６年度中のサービス開始に向けて進めてまいります。現在、本町のマイナンバーカードの普及率は８０％を超えており、このサービスを導入することにより、様々なライフスタイルの方々に活用していただき、利便性の向上も図れるものと考えております。

総合庁舎照明器具につきまして、現在省電力化されていない箇所のＬＥＤ化をリース方式の活用で一括に更新することにより、初期投資を抑え電気料金や二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向け、デジタル田園都市国家基本構想交付金を活用し、統合型及び公開型ＧＩＳ（地理情報システム）を整備し、町が保有する地図データをインターネット上で公開・提供することで住民サービス向上や来庁機会の削減に貢献できるよう取り組んでまいります。

５．おわりに

以上、私の所信を述べさせていただきましたが、令和６年度一般会計当初予算案は前年比で７．９％増の９６億３，０００万円を計上いたしました。当初予算ベースで歳入不足を補う財政調整基金の繰入は、約６億５，０００万円の予定となり今年度も厳しい財政状況が続いております。こうした財政状況の中でも、次世代に明るい未来を引き継ぐために、さらなる健全化を図っていかなければなりません。そのため令和５年度から行っております、「政策検討」として提供中の行政サービスの抜本的な見直し、「使用料等検討」として各種使用料・手数料の見直し、「公共施設建設事業検討」として公共施設更新の検討等を継続し、財政の健全化を図ってまいります。検討にあたっては、住民の皆さまのご理解とご協力を得ながら取組んでまいります。

北島町が魅力あるまちであり続けるため、地方創生の目標でもある人口増加を図り、未来に繋がる事業に取り組み安心・安全な住みやすいまちづくりを行ってまいります。つきましては議員各位をはじめ、北島町民の皆さまのさらなるご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げ、私の所信表明といたします。